

ミクロン精密 株式会社

2011年11月期 決算説明資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

会社概要



- ◇事業内容 : ^{しん}心なし研削盤(センタレスグラインダ)
内面研削盤(インターナルグラインダ)
その周辺装置の製造、販売
- ◇社 是 : 技術と人柄
- ◇社員数(連結) : 210名
- ◇平均年齢(単体) : 40.4歳
- ◇業績(連結) : 売上高: 3,505百万円
2011年11月期 経常利益: 399百万円
(第52期) 当期純利益: 441百万円



柄 欠 研 鑽 技 【技術と人柄】

技術の研鑽と人柄の醸成を
通じた社会貢献と人格育成

当社の歴史



2011	<ul style="list-style-type: none"> ● 2011/10 創立50周年 ● 2011/03 タイ王国バンコクに合併会社を設立 	
2010	<ul style="list-style-type: none"> ● 2009/02 ドイツ A. Berger社に初納入 ● 2007/09 中小型研削盤組立工場(南工場)落成 ● 2006/12 中部サテライト落成 (名古屋営業所移転) ● 2000/03 内面研削盤開発 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2008 生産6000台到達 ■ 2001 生産5000台到達
2000	<ul style="list-style-type: none"> ● 1998/04 ハイテクノロジーセンター落成 (ナノオーダーの加工精度を目指す) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1994 生産4000台到達
1990	<ul style="list-style-type: none"> ● 1989/02 米国 CATERPILLAR 社に初納入 ● 1988/06 米国にMICRON-U. S. A., INC. を設立 ● 1987/06 米国 AUTOCAM 社に初納入 ● 1980/08 日本電装株式会社(現: 株式会社デンソー)に初納入 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1988 生産3000台到達 ■ 1980 生産2000台到達
1980	<ul style="list-style-type: none"> ● 1978/01 トヨタ自動車工業株式会社(現: トヨタ自動車株式会社)に初納入 	
1970	<ul style="list-style-type: none"> ● 1968/05 社名をミクロン精密株式会社に変更 ● 1966/12 株式会社東洋ベアリング(現: NTN株式会社)、日本精工株式会社に初納入 ● 1963/04 株式会社不二越 に初納入 ● 1961/10 中川精機製造株式会社として発足 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1969 生産1000台到達
1960	<ul style="list-style-type: none"> ● 1958/09 中川精機株式会社山形工場として創業 	

当社の製品で研削される加工事例



2011年11月実績 損益計算書比較(連結)



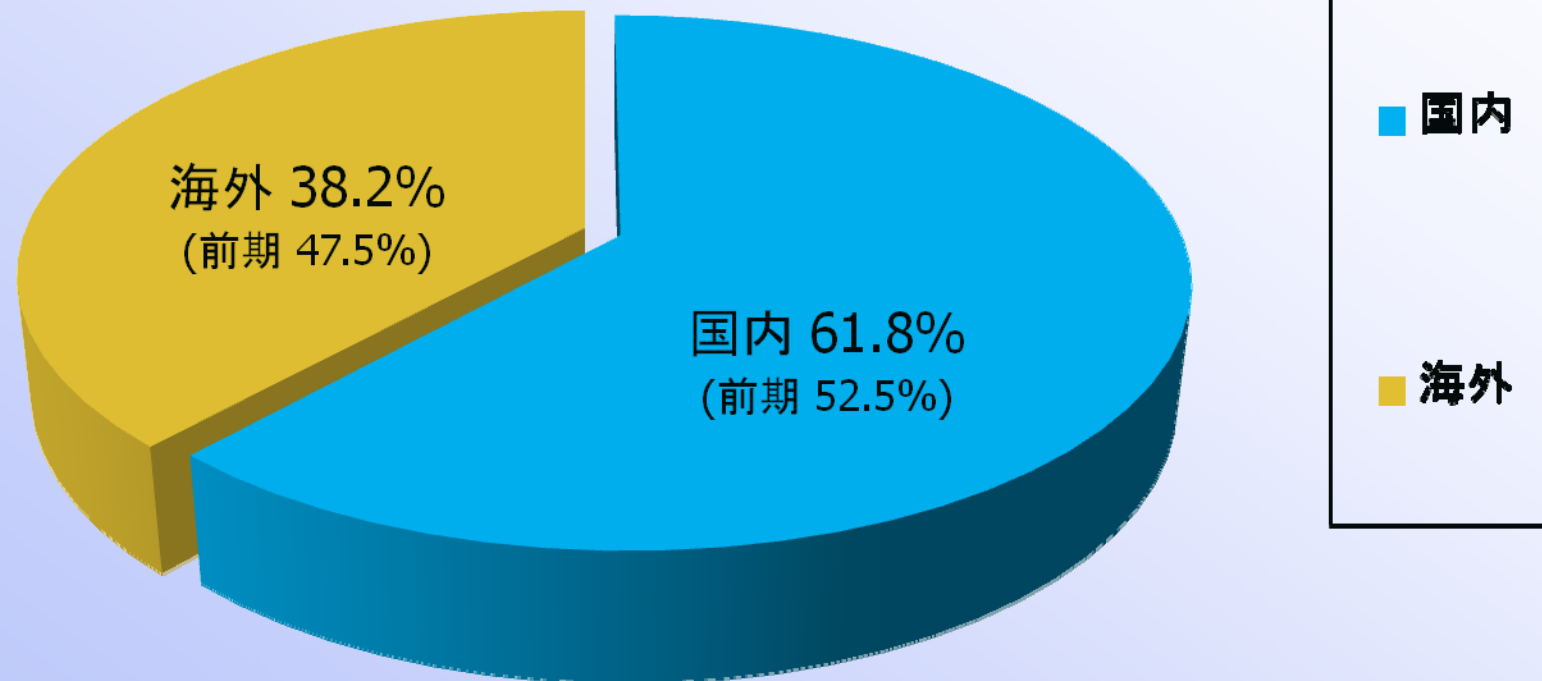
(百万円)

	2010年11月期 実績		2011年11月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	2,028	100.0 %	3,505	100.0 %	72.9 %
売上総利益	463	22.9 %	1,175	33.5 %	153.4 %
販売費及び一般管理費	623	30.8 %	711	20.3 %	14.0 %
営業損益	-160	-7.9 %	463	13.2 %	— %
経常損益	-102	-5.1 %	399	11.4 %	— %
当期純損益	-106	-5.3 %	441	12.6 %	— %
1株当たり配当金	10.00円		45.00円		

売上高につきましては、大きく落ち込んだ前期と比較し、受注の回復傾向が見られたことから、前期実績を14億7千7百万円上回り、35億5百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、生産効率の向上等により、前期実績を6億2千4百万円上回り、4億6千3百万円となりました。経常利益につきましては、為替変動による外貨建資産等による為替差損(営業外費用)1億7千万円の計上があるものの、営業利益の増加等により、前期実績を5億2百万円上回り、3億9千9百万円となりました。当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、繰延税金資産を計上したこと等により、前期実績を5億4千8百万円上回り4億4千1百万円となりました。

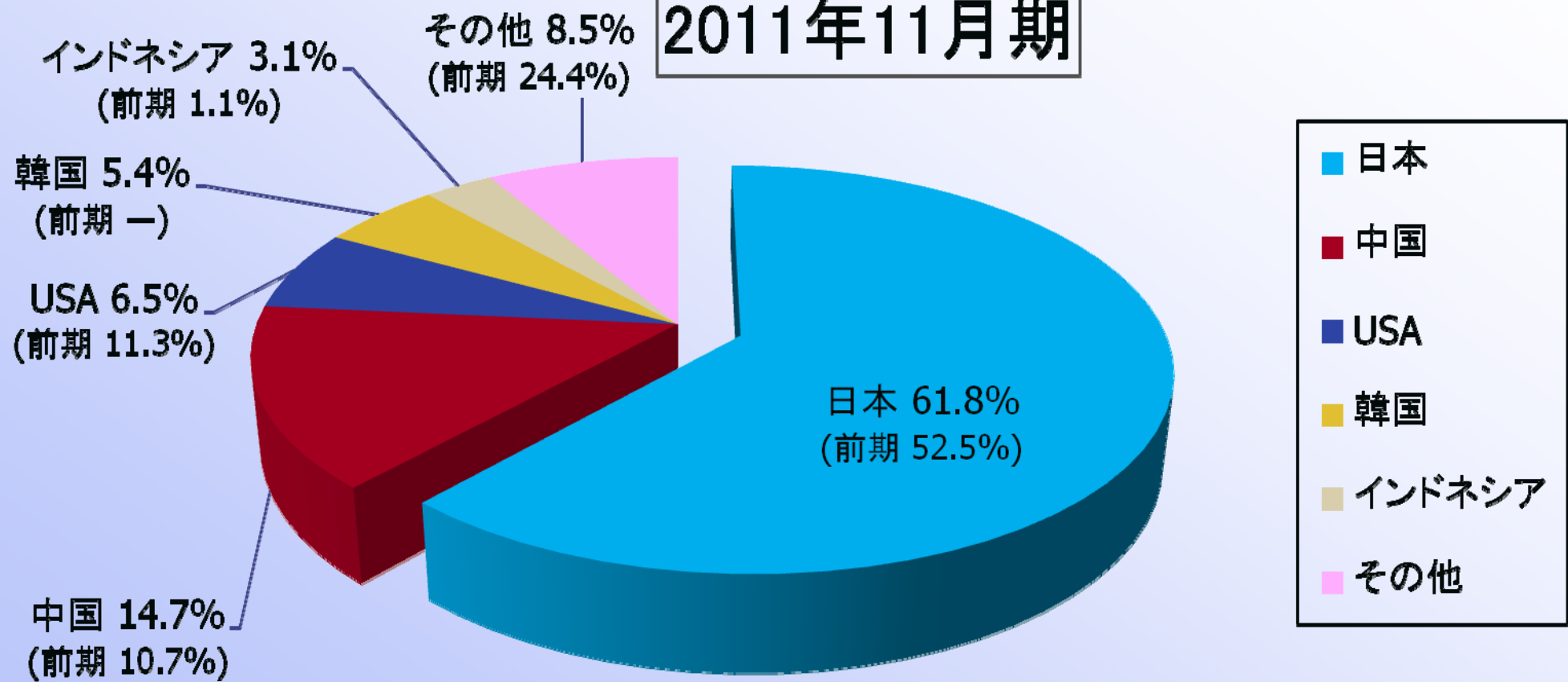
国内・海外売上比率

2011年11月期



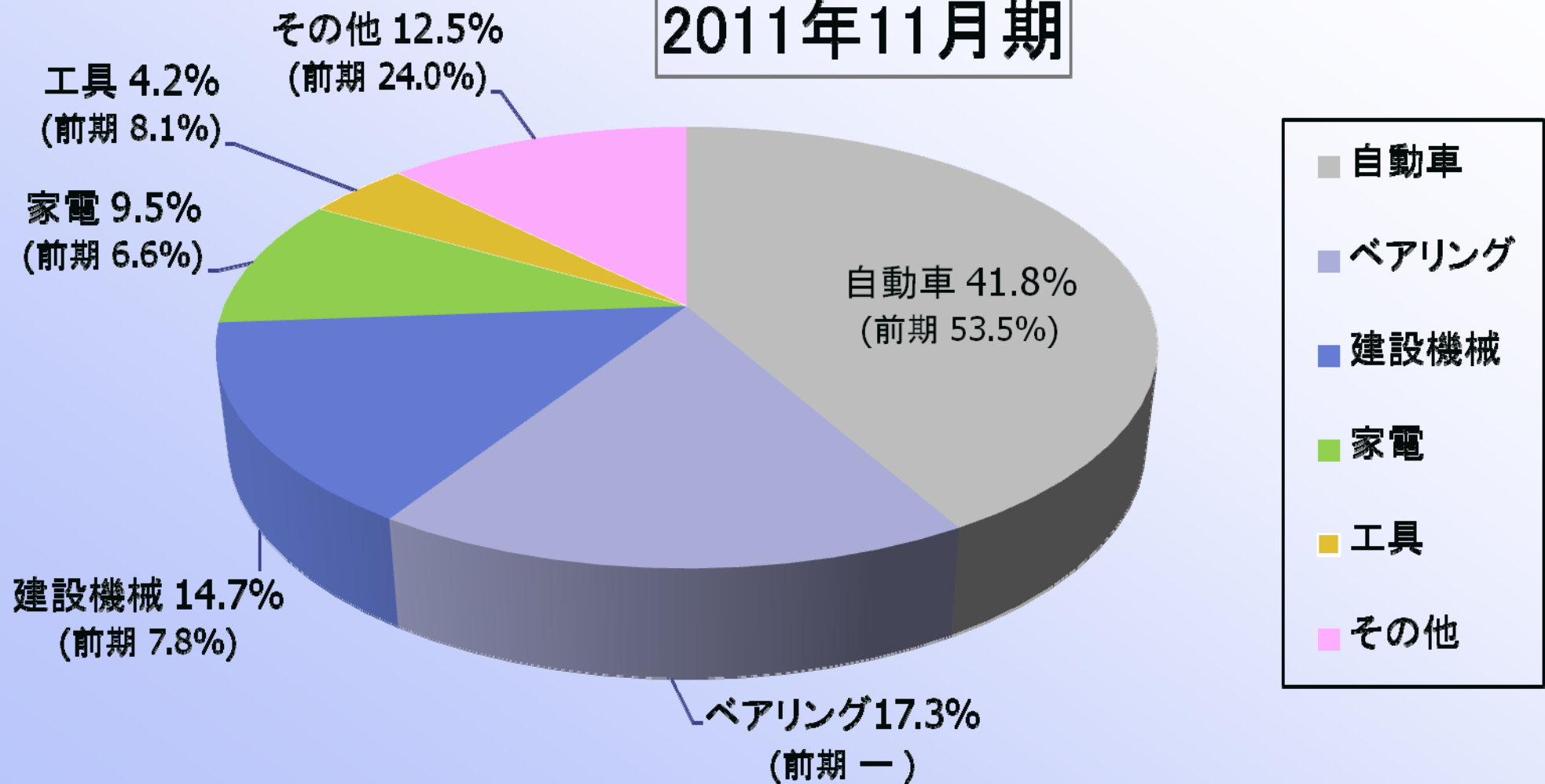
国別売上比率

2011年11月期



業種別売上比率

2011年11月期



2011年11月期実績 品目別売上高(連結)



(百万円)

	2010年11月期 実績		2011年11月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	1,373	67.7 %	2,624	74.9 %	91.1 %
内面研削盤	220	10.9 %	324	9.3 %	47.4 %
部品	393	19.4 %	516	14.7 %	31.1 %
その他	41	2.0 %	40	1.2 %	-0.6 %
合計	2,028	100.0 %	3,505	100.0 %	72.9 %

需要の増加が見られる新興国をはじめとした海外への販売展開の強化を図るとともに、国内外の市場及びお客様の期待に合致した製品づくりの追求を行ったことにより、受注の増加傾向が見られ、売上高全体が前期より増加しました。

2012年11月期業績予想 損益計算書(連結)



(百万円)

	2011年11月期実績			2012年11月期予想		
		百分比	前期からの 伸び率		百分比	前期からの 伸び率
売上高	3,505	100.0%	72.9 %	5,741	100.0 %	63.8 %
売上総利益	1,175	33.5 %	153.4 %	1,933	33.7 %	64.5 %
販売費及び一般管理費	711	20.3 %	14.0 %	842	14.7 %	18.4 %
営業利益	463	13.2 %	— %	1,091	19.0 %	135.3 %
経常利益	399	11.4 %	— %	1,170	20.4 %	192.6 %
当期純利益	441	12.6 %	— %	758	13.2 %	71.8 %

売上高につきましては、東日本大震災の復興やタイ王国の洪水被害の復旧対応の災害復興需要が見込まれるものの、欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れ継続の不安や、定着しつつある円高による輸出への影響もあることから、全体として、設備投資は微増傾向と思われます。しかしながら、種々の業種に対する積極的な販売展開の強化を図り、対前期比63.8%増の57億4千1百万円となる見込であります。営業利益につきましては、上述の売上高の増加に加え、コスト削減を継続することにより、10億9千1百万円を見込んでおります。経常利益につきましては、有価証券利息等の営業外収益を見込んでいることから11億7千万円、当期純利益は7億5千8百万円を見込んでおります。

2012年11月期業績予想品目別売上高(連結)

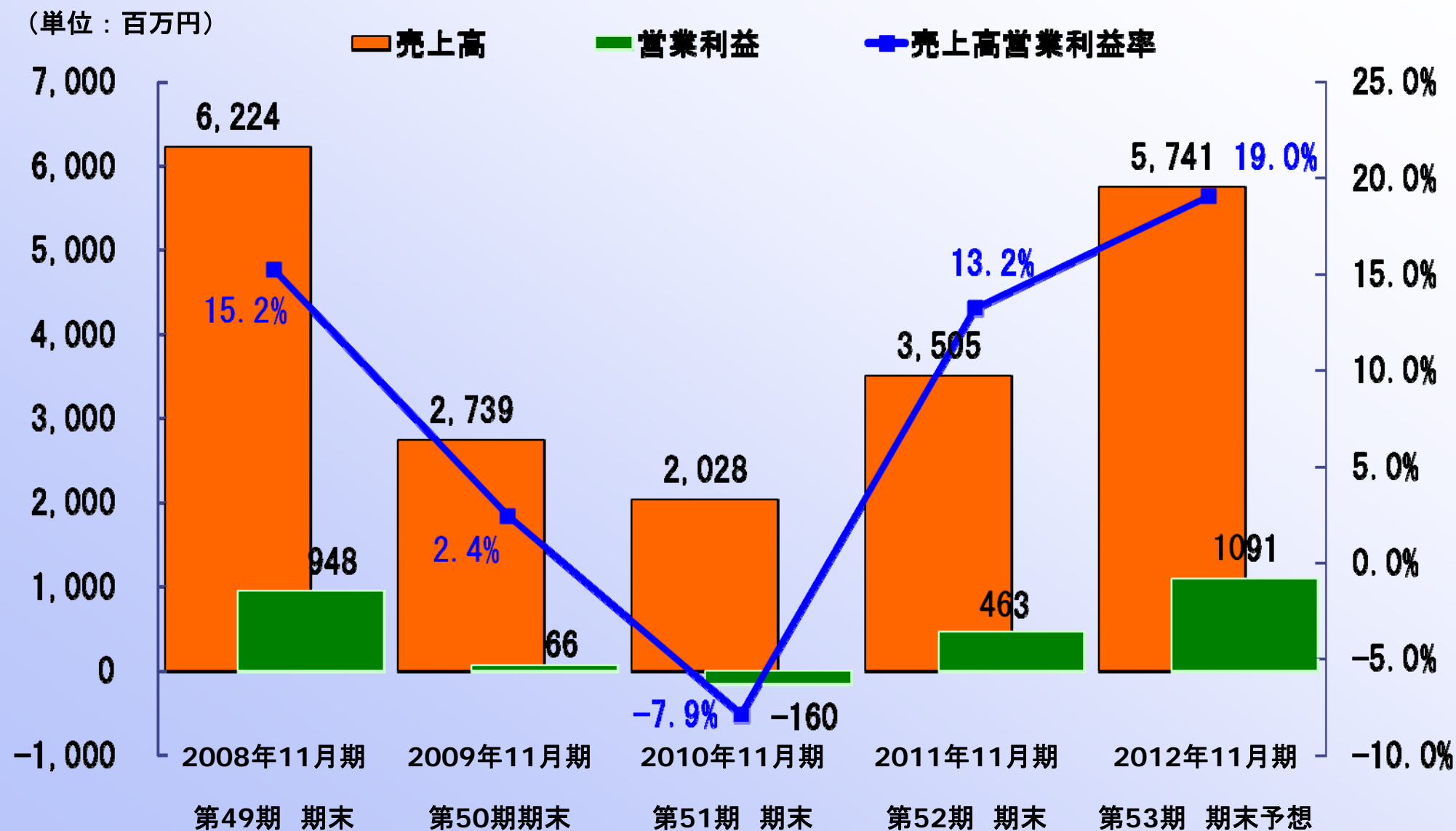


(百万円)

	2011年11月期実績			2012年11月期予想		
	売上高	百分比	前期からの伸び率	売上高	百分比	前期からの伸び率
心なし研削盤	2,624	74.9 %	91.1 %	4,183	72.9 %	59.4 %
内面研削盤	324	9.3 %	47.4 %	1,088	19.0 %	235.6 %
部品	516	14.7 %	31.1 %	441	7.7 %	-14.5 %
その他	40	1.2 %	-0.6 %	28	0.5 %	-31.1 %
合計	3,505	100.0 %	72.9 %	5,741	100.0 %	63.8 %

好調な新興国経済にけん引され、生産回復の兆しが見られるため、心なし研削盤、内面研削盤とも、売上高の増加を見込んでおります。
また、それに伴う新規設備投資の需要増から部品売上は若干減少するものと見込んでおります。

売上高の推移<通期>



◆環境(省エネ)対応車への貢献

低燃費エンジン用として注目されている
直噴エンジン用インジェクション加工に採用、
CO2削減へ貢献。



◆震災復興、資源発掘への貢献

震災復興のための需要増と、世界的な資源採掘事業繁忙による需要増により、建設機械用油圧部品加工向けに多く採用され、貢献。



世界最高峰と社員の幸せを目指して

1. 強みを極める弛まざる研究開発
2. 成長市場への集中
3. 新規市場への参入
4. 人財育成

◆ 中型・高速脱着センタレスの開発

MPC-450HP-CS

好評のMPC-250HP-CS型機の
大径加工物向け
中型センタレス研削盤

CS型機のラインアップを充実させることにより、更なる差別化を図り
新市場の開拓。



◆戦略機MFX-002の開発

心なし研削盤 MEC-600

コストパフォーマンスに
優れた戦略的中型機

MEC-450型をベースに
大型の600型機へ展開し、
ラインアップの充実を図る。

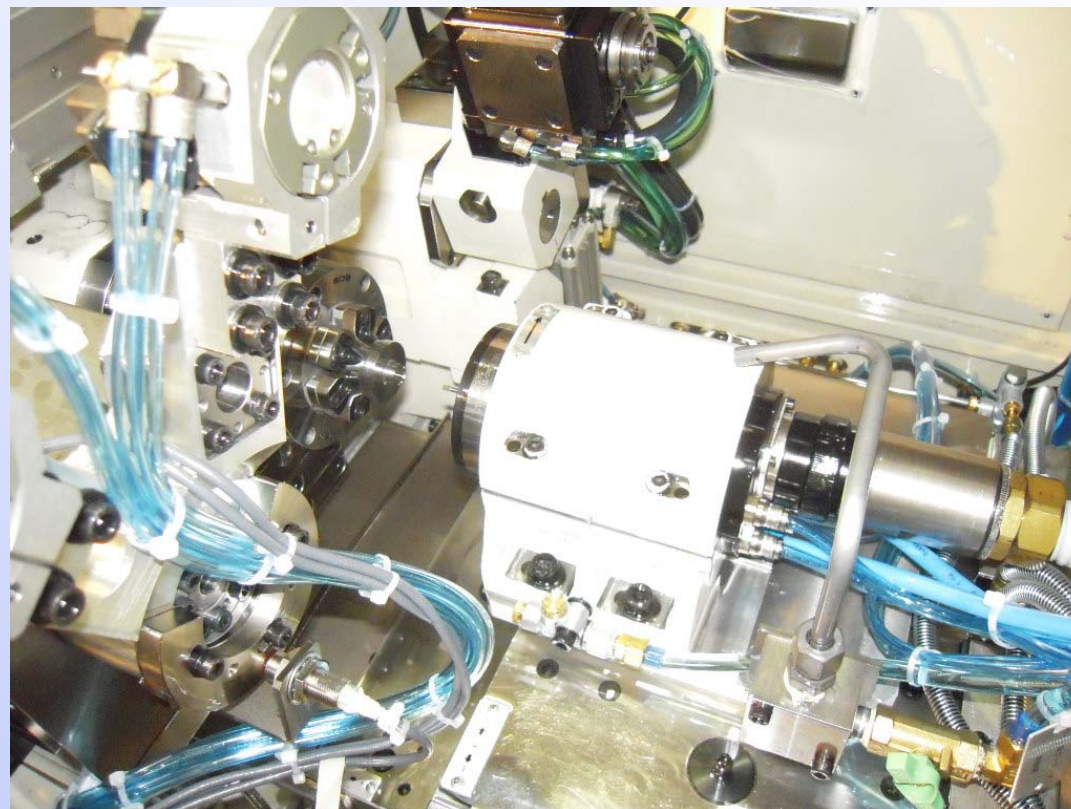


◆高能率内面研削盤の開発

内面研削盤 MIG-10H

内周面の高能率研削を実現した研削盤

ドライブユニットの回転数を8,000rpmまで高速にすることにより、高速オシュレーションを可能にし、高能率加工を実現。

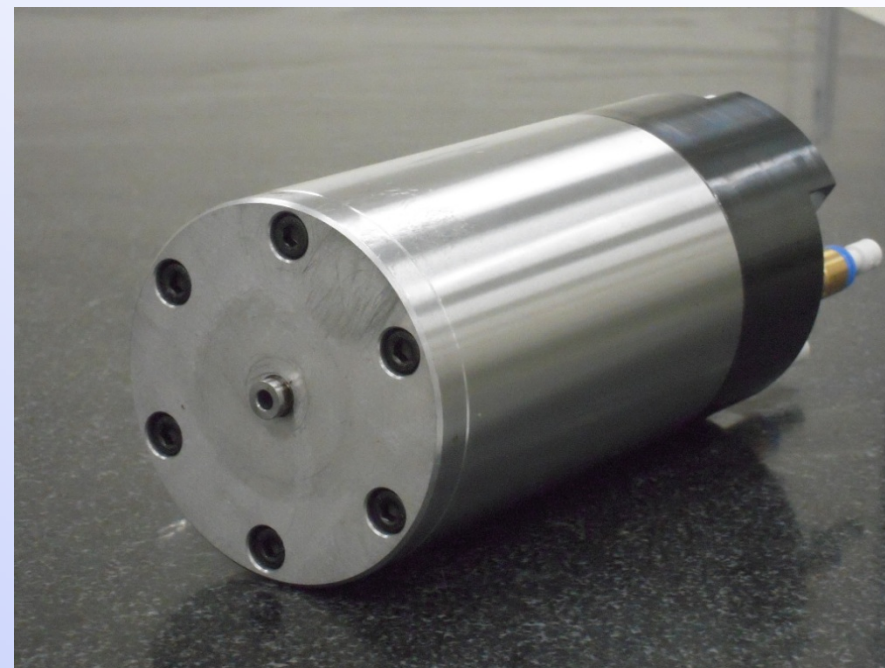


◆ 自社製高周波スピンドルの開発

高周波スピンドル 150,000rpm

自社製高周波スピンドルの開発

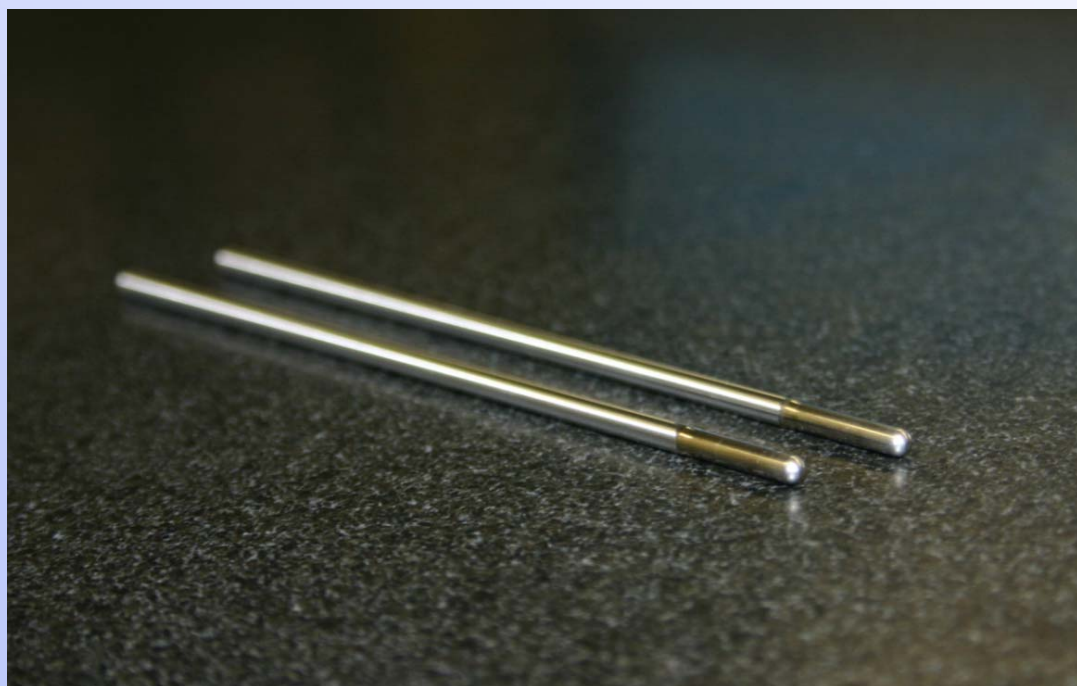
高周波スピンドルの剛性を高め
自社製として開発、内面研削盤
へ搭載。



- エコカー技術の展開
- ローカルメーカーへの販路拡大
- 鉄道網整備へ力を入れるロシア市場
- タイ王国営業基盤の確立

医療関連産業への取組み

◆腹腔鏡手術用機器加工用への採用



ものづくりは人づくり

ブラザーシスター制の導入
～技能・技術の伝承と鍛錬～



技術、知識の向上



生産能率向上
人柄の醸成



●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp/>